

単元名 わたし たんけん

配当時間 20 時間

単元の目標 (1) 大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた多くの人々がいることに気付くことができる。
 (2) 工夫して自分の成長を振り返るとともに、分かったことや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを、作品などで表現して伝えることができる。
 (3) 2年生になってからの1年間や、1年生や幼保の頃の自分について振り返り、印象に残ったこととや心に残っていることを発表し合い、自分の成長を自覚するとともに、これからも意欲と希望をもって生活しようとする。

標準的な展開例

02060302_001

【準備等】保護者、幼児教育施設の保育者への依頼、これまでの記録カードや作品などの学習成果物、学校生活の写真、記録カード、作文用紙、画用紙、タブレット端末等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 記録カードや作品などを見直して、自分ができるようになったことなどを見付ける。 ★ぼく、わたしのキラリを見付けよう</p> <p>○2年生で書いた日記や記録カードを手がかりに、記録カード（がんばったカード）を書く。 ・水やりの手伝いを毎日続けています。 ・九九を何度も練習して、すぐに唱えることができるようになりました。</p> <p>○自分ができるようになったことを伝え合う。</p> <p>○感想を伝え合う。 ・最初は難しくてできなかった一輪車も、友達と何回も練習したらできるようになりました。〇〇さんにありがとうございます。</p> <p>3～5 友達が頑張ったことや、よいところを見付け、表現する。 ★友達のキラリを見付けよう ○友達の素敵なところをカードに書く。</p> <p>○カードを渡し合う。 ・朝、学校に来たらすぐ野菜の様子を見に行っていたねいつも大事にしていますよね。 ・町探検でインタビューがとても上手だったよ。 ・町探検のまとめのとき、みんなに巻物作りを教えてくれたね。いつも親切だね。これからもよろしくね。</p> <p>○活動を振り返り、感想を伝え合う。 ・わたしのキラリを教えてください嬉しかったです。もっとわたしのことを知りたいです。</p> <p>6～9 お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする計画を立てる。 ★今までのわたしについて調べよう</p> <p>○家族や幼児教育施設の先生、学校の先生にインタビューするための計画を立てる。</p>	<p>・保護者には活動のねらいや計画について事前に知らせ、協力を要請する。 ・これまでの記録カードや作品、学校行事や学習、生活場面の写真を、時系列に沿って掲示するなど、振り返りのための具体的な手がかりを工夫する。 ・教科書P.98～99のような、カード等を1枚にまとめ、発表する活動を行うことを伝える。</p> <p>・できるようになったこと、がんばったことを「キラリ」とし、今後の活動を通して、自分の成長をより多く見付けたいという意欲になることを期待する。 ・家での役割や地域との関わりなど、学校外での出来事にも目を向けさせる。 ・以前の自分と比べて成長したこと、できるようになったこと、役割が増えたこと、友達や地域の人などとの関わりが増えたことなど、いろいろな視点から「大きくなった自分」を捉えさせたい。 【評】1年間の成長を振り返る活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・一つ一つのエピソードについて丁寧に振り返り、どうしてできるようになったのか、自分はどんなことを頑張ったのか、誰が支えてくれたのかなどに気付かせたい。</p> <p>・教科書P.102～103のカードを紹介して、友達に支えてもらったことに対する感謝の気持ちや、友達をすごいと思う気持ちを書くように声掛けをする。 ・カードをもらう枚数に差が出ないように、4人グループを構成するなどして配慮する。 ・友達の優しさや、他者への思いやりなど、内面的な成長に気付いている児童を取り上げ、全体へ広げる。 ・カードを交換する際は、渡すだけではなく、カードに書いた出来事について話をさせる。もらった児童にも、感想などを話すようにさせ、互いの成長を実感できるようにする。 【評】友達との関わりを振り返り、友達の素敵などところを伝える活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・友達に自分の成長を聞いたり、自分で振り返ったりしたが、もっと成長を感じるためにはどうするとよいか問いかけ、インタビューをする活動へ移行する。 ・どの時点から自分の成長を振り返り実感するかは、児童によって異なる。大切なのは自分</p>

- ・わたしは、1年生のときの担任の先生に聞いてみようかな。
- ・ぼくは、近所の〇〇さんに手紙を書いてみよう。

- インタビューする人を決め、インタビューカードを作る《インタビューカード》

【聞きたい人】

おじいさん

【聞きたいこと】

- ・小さい頃はどんな子だったか。
- ・どんなことを頑張っていたか。

- インタビューの練習をする。
 - ・こんにちは。〇〇小学校の〇〇です。インタビューをしてもよいですか。（インタビューをする）ありがとうございました。

- お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする。（授業時間外）

- お世話になった人に、自分の小さい頃についてインタビューする。（授業時間外）

- インタビューして分かったことを、記録カードにまとめる。

- 10～11 インタビューして分かったことを発表し、カードにまとめる。

★小さい頃の自分のことを、紹介しよう

- インタビューして、分かったことを伝え合う。
 - ・わたしは、保育園の先生に聞きました。小さい頃のわたしは、大人しいけどがんばり屋さんだったようです。「はきはきとお話できるようになりましたね」と褒めてくれました。

- インタビューカードをまとめる。

- 12～13 調べたことや分かったことを基に、自分の成長をまとめる。

★ぼく、わたしのキラリをまとめよう

- 記録カード、友達からもらったキラリカード、インタビューカードを1枚の画用紙にまとめる。

- ペアや4人などの小グループで交流する。
 - ・ぼくは小さい頃、おじいさんとの思い出が多いな。自然の遊びを教えてもらったよ。生き物の学習で、生き物に合うすみかを考えたけど、おじいさんのおかげだったのかもしれない。
 - ・わたしもお姉ちゃんが手伝ってくれたことを書こうかな。
 - ・保育園の先生が、はきはきとお話できるようになりましたねと褒めてくれたけど、どうしても話せるようになったのだろう。
- 発表の準備をする。

- 14～16 自分の成長をまとめたものを、友達や自分の成長を支えてくれた人に紹介し、感謝の気持ちを伝える。

★学習して分かった、ぼく、わたしのキラリを発表しよう

の成長を実感できることであり、一律に過去から順にたどることではない。

- ・児童の家庭環境や成育歴などに十分配慮の上家庭と連携を取りながら活動を進める。一律に「家庭で調べる」などと決めて活動を行うことのないよう、十分注意する。
- ・家の人、幼児教育施設の先生にインタビューをする際には、事前に概要や趣旨を連絡し、協力を依頼しておく。
- ・インタビューが困難な事情のある児童に配慮し、一人一人に応じた支援をする。
- ・インタビューが難しい場合は、手紙や電話、FAXを使うなどして調査方法を考える。

- ・教科書P.117「ワンポイントアドバイス」を参考にしてインタビューカードを作ったり、インタビューする練習をしたりする。また、手紙や電話についても同様に行うとよい。

【評】インタビューを計画する活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

- ・学校の実態に応じて園児との交流活動を行い自分の小さかった頃に関心をもたせるようにするとよい。

- ・役割やできることが増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、児童の内面的な成長を称賛してもらうように依頼しておく。

- ・自分の成長を調べる活動では、児童の姿だけではなく、そのときの家の人などの思いや願いも気付くようにしたい。

【評】インタビューする活動を通して「知識・技能」を評価する。

- ・今の自分と比べてどのようであったかという視点で発表させるとよい。

- ・発表の際は、電子黒板を使ってカードを大きく見せるなど、児童の思いが聞き手に伝わるようにする。

- ・友達がインタビューした内容を知ること、自分の内容を見直し、必要に応じて再度インタビューを行ったり、調べたことをカードに付け足したりすることも考えられる。

【評】インタビューしたことを伝え合う活動を通して「知識・技能」を評価する。

- ・自分の成長をまとめた模造紙のタイトルは、自分の成長を表す表現にしたい。

- ・教科書P.97の参考例では、自分の成長を「自分」「友達」「支えてくれている大人」と、児童を中心に同心円状に1枚にまとめられている。成長を支えてくれた多くの人々がいることに気付き、感謝の気持ちをもたせるようにしたい。

- ・完成してからの伝え合いだけでなく、まとめる段階で小グループ規模の交流を繰り返し行わせる。友達に伝えたり、意見を聞いたりする中で、自分への気付きの質が高まることを期待したい。

- ・自分たちの成長を支えてくれた人の存在に気付いている児童のつぶやきを取り上げ、全体へ広げるようにしたい。

【評】自分の成長をまとめる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・発表方法については、国語科と関連させたり

<p>○自分の成長について調べたことや分かったことを発表する。</p> <p>○友達の記事を聞いて、質問したり感想を伝え合ったりする。</p> <p>○活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生になって、進んで手伝いをしたり、大好きなサッカーも、1年生のときよりもできるようになりました。ぼくはたくさんの人に支えられて大きくなったことが分かりました。これからもがんばります。みんなにありがとうと言いたいです。 <p>17 インタビューや作品作りでお世話になった人へ、感謝の手紙を出す。</p> <p>★お世話になった人に、ありがとうの気持ちを伝えよう</p> <p>○お世話になった人へ手紙を書く。</p> <p>○手紙を渡したり、出したりする。</p> <p>○感想を伝え合う。</p> <p>18～19 3年生になったらしてみたいこと、頑張りたいことなどについて話し合い、作文などにまとめる。</p> <p>★これからのぼく、わたしについて考えよう</p> <p>○3年生になって、やってみたいことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今続けている手伝いをこれからも頑張りたいです。また、新しい手伝いもやってみようと思います。 <p>○3年生になる期待や抱負について話し合う。</p> <p>○未来の夢や希望を作文や手紙などにまとめる。</p> <p>20 未来の夢や希望についてまとめたことを発表し、単元のまとめをする。</p> <p>★これからのぼく、わたしについて発表しよう</p> <p>○未来の夢や希望についての作文を発表する。</p> <p>○感想を伝え合い、単元のまとめをする。</p>	<p>P.123「はっぴょうする」を参考にしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を使った発表だけでなく、実演したりするなど多様な発表方法を認める。 ・児童が発表したいと思ったものには、それぞれの思いやエピソードがある。なぜそれを好きになったのか、どうやってできるようになったのか、どうして心に残ったのかを教師が対話を通して引き出し、発表させるようにしたい。 ・たくさんの人が自分の成長を支えてくれていることの喜びや、これからの成長への思いを表現している児童を取り上げて全体に広げ、自信と意欲をもって生活できるように支援する。 <p>【評】自分の成長を伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・手紙を書く際は、教科書P.122「手紙を書く」を参考に指導をする。</p> <p>【評】お世話になった人へ手紙を書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の学習や生活に期待がもてるよう、3年生の教科書（新教科となる理科や社会科など）やリコーダー、習字セットを用意しておくとうい。 ・3年生から始まる新しいことだけでなく、今までやってきたことを継続して、さらに高い目標に向かって頑張ってもよいことを伝える ・友達や周りの人に支えられたという思いをもう一度想起させ、これからも様々な人と関わりながら成長していこうという意欲をもたせる。 ・作文を書く際は、国語科と関連させたり教科書、P.121「作文を書く」を参考にしたりして指導をする。 <p>【評】これからの自分への作文を書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任からも児童一人一人に対し、成長を認め勇気づける作文やメッセージカード等を手渡しし、これからの生活に意欲をもたせたい。 <p>【評】これからの自分への作文を発表する活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】

・活動によっては児童の誕生や生育に関わる事柄を扱ったり、家族へのインタビューを行ったりするような場合も考えられるため、プライバシーの保護に留意するとともに、それぞれの家庭の事情、特に生育歴や家族構成などに十分配慮することが必要である。